



2020年4月24日

各 位

会社名 株式会社 富士通ゼネラル
 代表者名 代表取締役社長 齋藤 悦郎
 (コード: 6755 東証第1部)
 問合せ先 広報IR室長 加納 俊男
 TEL (044) 861-7627

業績予想と実績値との差異および特別損失の計上に関するお知らせ

2020年3月期通期の業績について、2020年1月28日に公表した業績予想との差異が下記のとおり生じたのでお知らせいたします。

また、2020年3月期における特別損失の計上について、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 業績予想と実績値との差異

(1) 2020年3月期通期連結業績予想と実績値との差異(2019年4月1日~2020年3月31日)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に帰属 する当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益 (円 銭)
前回発表予想 (A)	285,000	18,500	18,000	12,000	114.69
実績値 (B)	262,117	14,941	13,683	5,765	55.11
増減額 (B - A)	△22,883	△3,559	△4,317	△6,235	
増減率 (%)	△8.0	△19.2	△24.0	△52.0	
(ご参考) 前期実績 (2019年3月期)	252,667	14,589	14,116	8,892	84.99

(2) 差異の理由

第4四半期において、新型コロナウイルス感染拡大に伴う中国工場を主とした稼働率低下が、各地域向けの空調機の生産・出荷に大きな影響を及ぼしたほか、インドでの直販体制移行に想定以上に時間を要したことなどから、売上高、営業利益および経常利益は前回予想を下回りました。また、これらの影響に加え、今後の空調機事業の成長に向けた販売体制の強化・再構築に係る海外事業等再編費用を特別損失として計上したことから、親会社株主に帰属する当期純利益は前回予想を大きく下回りました。

2. 特別損失の計上

当社グループは、今後の空調機事業強化に向け各地域の販売体制の強化・再構築を進めております。この一環として、インドでの直販体制への移行に伴う既存の合弁事業解消など販売体制再構築のほか、中東におけるコマースビジネス拡大に向けた販売ルート再編や中国における取扱商品・販売網の選択と集中等に係る海外事業等再編費用 3,473 百万円を特別損失として計上いたします。

以 上